

研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

「COVID-19 罹患を起因とした脳出血の1例」の症例報告

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年12月16日～2021年3月30日に当院に入院した方

2. 研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）は2020年初めより、急速に流行しています。この感染症は、呼吸器疾患のみならず、心臓血管系、腎臓、脳神経系などの様々な臓器への障害を引き起こし、その中でも COVID-19 患者に発症する脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）、その中でも特に脳梗塞が注目されるようになりました。COVID-19 に罹患後に脳梗塞や血栓症を発症した症例は報告されていますが、脳出血を発症した症例は少ないとされています。Fernandes らの研究では、COVID-19 患者にて1.4%で脳卒中を発症し、その内71.9%が脳梗塞、23.7%が脳出血だったと述べています。稀ですが、COVID-19 に罹患後の脳卒中を起こした症例では高血圧、糖尿病、心筋梗塞や脳卒中の既往を有する場合が多く、さらに COVID-19 罹患後の脳卒中では重症化や後遺症の残存、死亡率は高いとされています。その状況下で COVID-19 罹患後の脳卒中に対する迅速な治療は重要です。今回、COVID-19 罹患後に脳出血を発症し、さらにせん妄を起こしたが、薬剤治療により症状が軽快した症例を報告することを目的としています。

本研究では、2020年12月16日から2021年3月30日までに精神科病棟に入院した患者さんの病状発症から入院時までの経過、入院時の検査結果（採血、レントゲン、CT、MRI）、また入院後経過の処方薬内容や精神症状の経過を当院のカルテから調査し、症例報告として学会発表に用います。また、同内容のものを学術雑誌にて症例報告をおこないます。

本研究は学術研究であり、昭和大学附属烏山病院入院中の患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療記録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

研究期間 2021年4月16日

昭和大学附属烏山病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の実施許可を得た日～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

2020年12月16日から2021年3月30日までに精神科病棟に入院した患者さんのデータ（性別、年齢、診断名、入院日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態、身長、体重、既往歴、現病歴、併用薬）および臨床検査項目（血液、生化学、胸部X線、頭部・胸部CT、脳MRI）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学附属烏山病院（医学部精神医学講座） 氏名：田中有咲
住所：157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11 電話番号：03-3300-5231

研究責任者：

所属：昭和大学附属烏山病院（医学部精神医学講座） 研究責任者：田中有咲